図表(一) 昭和年度 大会後の組織支部図表 自3.9 至4.7

支部名	設立年月	支部名	設立年月
三河島支部	三、八	池袋第二支部	四、二
城西セメント工支部	三、七	寺島ゴム工支部	四、三
之本工支部	三、八	向島支部	四、四
[illegible]谷支部	三、九	品川第三支部	四、六
中野運輸工支部	三、一〇	大島第二支部	四、六
砂町第六支部	三、一[illegible]	丸の内支部	四、八
砂町コンクリート支部	三、一二	亀戸工化支部	四、七
横[illegible]瓦斯工支部	三、一二	本田支部	四、七
城西中野支部	三、九		
本所第五支部	四、一		

主義刷新期に関しては日本の前題に解決を与へた即ち[illegible]
四全協労働組合に組織的へさしたことであり[illegible]文部を[illegible]
から切り離して日本運輸労働組合を結成せしめたことである[illegible]
さらに基礎の確立を計つてこれ等産業部門の労働大衆の獲得に向つて[illegible]
有つことは我々の誇りとする處である。

(四)

同時方面の支部は従来の八個のみには会されて[illegible]を遂げ[illegible]運動の
必要上両地方に新に区を設置し(四月)数十の區をもつて[illegible]ある
現在に於ける我が関東合同の組織別の展望は表示の如く全国に亘つてゐるのである
上記の半年の組織運動の基本として積極的に活動を開始するに於て[illegible]組
織の伸長を見るべしと信ずる。